交換の時期と廃棄方法

電池切れかな？

　電池切れの時には音声でお知らせするか、ピッ・・・ピッ・・・と短い音が一定の間隔で鳴りますので、新しい電池に交換してください。

警報器本体の寿命は・・・

　本体の寿命について、（一社）日本火災報知機工業会では、10年を目安としています。

　廃棄する場合はお住まいの地域のルールに従って適正に廃棄してください。

★電池又は警報器本体の交換時期を忘れないように書いておきましょう！

交換予定	年	月

いざという時の連絡先

火災・救助・救急は	119
病院へ行った方がいいのかな？ 救急車を呼んだ方がいいのかな？　迷ったときは	＃7119

病院へ行く？救急車を呼ぶ？
急な病気やけがで迷ったら、
東京版救急受診ガイド

http://www.tfd.metro.tokyo.jp

携帯電話からはこちら

スマートフォンからはこちら

地震だ！まず身の安全

住宅用火災警報器 メンテナンスカード

住宅用火災警報器は命を守る大切な機器です。
日頃からチェックをしましょう！

警報が鳴った時

日頃のチェックの方法は？

電池交換は？

東　京　消　防　庁

警報が鳴ったときは

火災のとき

大声で周りに火災を知らせ、**１１９番通報**をしましょう。
可能なら消火を行ってください。
消火が難しそうな場合は速やかに避難してください。

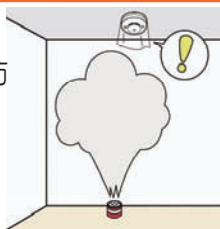
火災ではないとき

火災以外の湯気や煙などを感知して警報が鳴った時は、警報音停止ボタンを押す、ひもがついているタイプのものはひもを引く、もしくは、室内の換気をすると警報音は止まり、通常の状態に戻ります。

台所でよく鳴る・・・

煙や湯気が直接かからない場所に警報器の場所を変えるか、熱式の警報器に取り換えてください。

煙霧式の殺虫剤を使用する際は・・・

警報器を取り外すか、ビニール袋で覆ってください。その際は、火災予防に万全を期すとともに、殺虫剤使用後は必ず警報器を元の状態に戻してください。

日頃のチェックの方法

●正常に作動するか、月に1回確認をしましょう。

お手入れをしましょう

警報器にホコリが付くと火災を感知しにくくなります。汚れが目立ったら、乾いた布でふき取りましょう。

特に、台所に取り付けた警報器は、油や煙などにより汚れがつくことがあります。布に水やせっけん水を浸し、十分絞ってから汚れをふき取ってください。

テストをしましょう

テストは、ボタンを押したり、ひもがついているタイプのものは、ひもを引いて行えます。詳しくは製品の取扱説明書をご覧ください。

音が鳴らない・・・

次のことを確認しましょう。

・電池はきちんとセットされていますか？
・電池切れではありませんか？

それでも鳴らない場合は、故障が考えられます。取扱説明書をご確認ください。